

を送るの辭

る成虎の歳を送るに當り余輩の感想を少しく回想して見やう

故伊藤公忠の背景として現はれたる明治四十三年の半島は故會蘭子に舞臺に乘せた、露骨に謂へば余輩は故會蘭子に多く期待する所はなかつた、局面は展眺して寺内將軍の活舞臺となる、未だ著く半歳に足らずと雖も當初より余輩の期待する所はなかつた、局面は展眺して寺内將軍の活舞臺となる、未だ著く半歳に足らずと雖も當初より

務總長取扱の農商務省
吉氏は同取扱を免ぜらる

●創立委員の選任は加藤増雄、桂
郎兩氏の指名に一任せり
▲水難救済會 帝國水難救済會
昨日會長吉井伯理、藤波相良、肝付五
○其他出席し各地方支店長の下に
納委員を置く仲其他重要案件に付
協議したり

鐵道院と石炭 後藤

けたりしより明年度の
同一の筆法と以て臨む

▲矢部技師の渡英 矢部大藏技師は關稅問題説明の任務を帯びて三十日英國へ出發の筈なり

▲東京時報記者の奇蹟 東京時報記者正樹氏はチーコト一附近にて馬車に墜ち、重傷を負ひ、たゞて馬車として、國民黨は議會に彈劾を提出する筈なり

●定例長官會議

東京郵日誌
新京船本報
同同同同同

(你)

九九三二
三入八二
一〇〇二

天一銀行支配人 遠山啓
就ては大分諸銀行支

すから、鮮人の需用品が北海道から幾ら
来ても間に合はぬといふ程で、地方から
注文が引きも切らぬといふ有様です。
人側では近頃米を買占むる爲めに貨
物入りのものが幾らでもありまゐる。之れ

交通機關の整備した時に於ては、
通り思惑が當りまするか堂がそれ

朝鮮に於ける金利が非常に高いといふ批評の聲もあるやうですが決して高くない。經濟の組織が違ひますから當然の事であつて、作れぬものもあるやう止めるものもあつて、やせう之は株主ならんとする人も餘程注意しなければ結局は朝鮮の經濟界に大影響を及ぼすことになるだらうと思ひます。最後に申上げたのは朝鮮

企業熱勃興に誘引される譯で

取引同
大阪米仁川米豆取引以納會

所なる我が寺内總督は吾人移住民のや實に候補者の過多なるに存す、候補なる我が寺内總督は吾人移住民のや實に候補者の過多なるに存す、候補

[illegible]

日どす但し其結果は本紙上に公すべし

業に關しては養蠶獎勵と一定したる
に聞かぬが儘、報道せし所なるが如
に地方を通過して養蠶を獎勵するに決
定した次第にあらずや土地風習の干渉
より風習の不可なる處も與へば這は
る風習に適應すべき産業と興へば
育事業に於ても各地方同一の方針を
能はざるの事情も無い斯點に就て
る能はざるの事情も無い斯點に就て
る能はざるの事情も無い斯點に就て

●鐵道フスマ輸出
輸出を行へりしが其の成績頗る
に即ち内地製粉業者が近年漸次
増大の結果は自然其の値段を押し
上げる結果に於て其の利益を押し
上げる結果に於て其の利益を押し
上げる結果に於て其の利益を押し

に聞くが、傳報道せし所なるか、**地方を通じて養蠶を獎勵するに決定**なるべしと云ふ

東江に沿へ、茲に、ハミ
通商開設の事は本年の議會に於て
定し、豫算の範圍内に於て土地を賣却
ハミ
も試射し得べきとなりため更に別
灣方面に射撃場と新設する事となり
つ前、漢口吳鎮守府よりも近距離なる

分南大門着車にて隅京の筈

航の途に川より精米滿載の上長崎寄港
一月七日大連入港豫定の安東丸は海
更に鹿児島向け臨時航行より決定せ
るが右實航成績の如何により茲數々日
の宿題は早晚解決せらるべし云ふ

選舉界の形勢

民團議員の選舉形勢は本紙重選投票
日の得票數を見て既に解することを得

民團議員豫選投票券

百三十票	和田常吉
百二十七票	渡邊與三郎
百二十七票	森勝次
百二十四票	中村再造
百十票	田村義二郎
百八票	進辰馬
百五票	針本泰次郎

百二十七票
森勝次

別工事を完へるの要する港浦余船其は
第一の^が不^がずしも同様に廢止するに決するに
されば早晚鎮海灣工事を相待ちて完
るの期圖あるべしと云ふ

[illegible]

699

